

策定にあたり

本市では、直近の R6 決算が黒字で、貯金である財政調整基金も 24.4 億円と過去最高額となっており、危機的な財政状況ではありません。一方で、経常収支比率は 99.8%と上昇し、義務的な経費以外に使える財源がほとんどなく、余裕がない状況です。

そこで、新たな施策や将来への投資が行えるように財政状況を改善していくには、経常収支比率の改善が必要であり、この度、取組計画となる「今後の財政状況改善に向けた取組について」をとりまとめました。

本計画では、「可能な限りの歳出削減」と「効率的な行政運営を一層推進する」取組を中心に盛り込み、10 年間かけて経常収支比率改善に重点的に取り組む内容となっております。

これらを通じて、今まで以上に財政状況改善に取り組み、持続可能な財政運営に努めてまいります。

令和 7 年 12 月

大和高田市長 堀内 大造